

第5回トキ野生復帰検討会 結果概要

日 時：平成25年8月8日(木) 14:45～18:00

場 所：トキ交流会館(新潟県佐渡市)

主な議論：次のとおり

1. トキの飼育繁殖の状況等

- ・ 前回の分科会(H25.2.12)以降の飼育の経過、現在の飼育繁殖状況、今年の繁殖結果を報告した。
- ・ 第8回放鳥の訓練経過と第9回放鳥の訓練開始について報告した。
- ・ 孵化直前の破卵が多いことについて、孵化・育雛形態や他の属性との関連性を次の小委員会で示すこととした。

2. 野生下のトキの状況等

- ・ 放鳥トキの2013年の繁殖結果について報告した(24ペアが形成され昨年を上回ったが、死亡・兄妹ペアヒナ收容により巣立ちは4羽に留まった)。なお、巣立ち率が昨年の半分となったが、兄妹ペアヒナをカウントすれば、4%程度の低下に留まるとの指摘あり。
- ・ ヒナを捕食しているカラス対策について、当検討会では駆除すべきと判断。次回の検討会に具体的な方法を示すこととした。
- ・ 4月に実施した緊急会議を踏まえた兄妹ペアの対応について報告した。(4月の緊急会議と同様の議論が繰り返されたが結論が出ず、次年度も引き続き今年度同様の方針によることとした。)
- ・ 兄妹ペアのヒナ同士による繁殖実験が提案され、まずは、文化財保護法上の問題点があるか、文化庁へ確認することとした。
- ・ その他、ヒナの足環装着、野生下のトキの確認状況、第8回放鳥トキの様子、死亡したトキの状況を報告した

3. 野生復帰を進める上での今後の検討項目

- ・ 飼育個体・放鳥個体のデータの活用方法について説明し、了承を得た。
- ・ トキの傷病及び死亡個体の検査等について説明し、了承を得た。
- ・ 地上波発信器導入の検討結果について説明した。モーリタリティセンサー式の発信器についても検討するよう指摘があり、次回検討会で報告することとした。

4. 分散飼育地におけるトキの公開に係る考え方について

- ・ 分散飼育地における公開の検討の進め方として、公開の技術的基準を本検討会

において、公開に関する合意形成を本検討会とは別に関係機関と打合せていくことを説明した。

- ・ 公開に関する技術基準(案)を説明した。これに対し、委員からは、公開に関する教育的・普及効果を明示すること、公開ケージの規模等を誰が確認するのか明示すること、公開個体の選定については、分散飼育地との調整を十分に行うこと、分散飼育地での飼育を終生と限定しない方が良い等が指摘されたほか、出雲市からは、今回提示の案のみならず、部分公開等の方法論も除外しない旨の希望が出された。

5. 報告事項等

- ・ 補正予算によるケージの新設等、脱出トキの搜索結果と脱出防止対策、トキふれあいプラザの利用状況等、佐渡市苗踏み対策支援、いしかわ動物園のケージ増設の5点について報告した。

－以上－